白川郷荻町集落の自然環境を守る会　令和5年2月号

ねそ

守る会ホームページ　http://shirakawa-go.com/~ogimachi/

『荻町構想計画会議』空地の拾い出しを実施

荻町構想計画会議では、荻町集落における人口減少や高齢化等による空家や担い手不足によって、将来美しい伝統的建造物群が消滅するといった問題が表面化しないように、今からどのような対策を講じるべきかを行政の支援のもと荻町区（区長・副区長）と守る会拡大役員とで議論しています。

令和２年には荻町住民に対し空家アンケートを実施し、老朽化したセンガ岩倉庫の代替えとしてすぐに活用できそうな建物はほぼ無いことが分かりました。現在、アンケートから時間も経過し、空家や将来空家に関する情報収集に努めていますが、同時に空地等を活用した共同車庫を地域の中に分散して整備することも検討しています。

そして、本年度から合掌造り保存財団（以下：保存財団）にも会議に参画をいただき、共同車庫に活用できそうな空き地を拾い出すと共に、土地の所有者の承諾を得ながらこれを計画的に取得し、共同車庫の利用を希望する住民同士で建設することができないか議論を進めています。

今後は共同車庫に活用できそうな空地を選定し、所有者のご意向を確認すると共に、住民の皆様には共同車庫の利用希望調査を実施し、利用者の費用負担の在り方を検討してまいります。

今後とも荻町区と守る会の取り組みにご理解、ご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

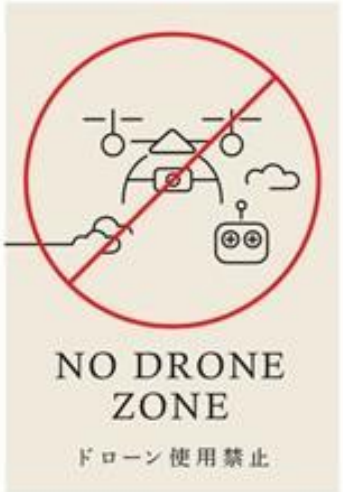
◆マナー啓発公式ピクトサイン看板（注意喚起看板）で景観に統一感を！

守る会では行政と連携して、観光客に対するマナーリングを目的とした公式ピクトサインを制作しています。 世界各地から訪れる観光客等に対して言語の問題や多種多様なデザインの看板が乱立し景観を乱すことのないよう、景観に調和した統一的なピクトサインを制作しています。ピクトサインの種類は「ポイ捨て禁止」「敷地内侵入禁止」「落雪注意」「観光車両進入禁止」等８パターンあり（裏面参照）、サイズはA3サイズとA4サイズの2種類。サインにはイラストが入っており、どの国の方でもわかりやすいデザインです。

国の規制緩和やライトアップイベントの開催もあり、観光客も増え活気が戻りつつありますが、一方でゴミやタバコのポイ捨て、敷地内への侵入も目に付くようになってきました。

守る会では公式ピクトサインの普及のため、荻町住民及び事業者の皆さまへ無料で配布いたします。ご希望の方は守る会事務局尾崎までご相談くださるようお願いします。

マナー啓発公式ピクトサイン看板（注意喚起看板）



ご希望の方は守る会事務局尾崎までご相談ください！

守る会活動スローガン　～守る・暮らす・つなぐ～

①守　る：住民憲章を基盤とした、世界遺産である合掌家屋と農山村の景観保全
②暮らす：結の精神が根ざした共同体と、景観に調和した豊かな住民生活の向上
③つなぐ：故郷から学び、他地域の交流から学び、未来の継承者を育成

1月の活動報告　※3月の定例会は8日（水）を予定（公民館またはzoomにて）

1日　白川八幡神社元旦祭（会長）
11日　荻町構想計画会議（役員・財団・教育委）
20日　定例会
23日　ねそ1月号発行（総務部）
24日　空家聞き取り調査（会長・事務局・教育委）

2月の協議事項（現状変更申請に関わって）　2月8日開催

白川村教育委員会･･･放水銃設置に伴う樹木の伐採　　＊＊＊＊･･･仮設丸太屋根の設置

◆ねそ編集後記･･･先日、消防署の方の話をお聞きする機会がありました。大きな医療機関がない村で、診療所と連携をとることはもちろん、住民同士の繋がりがとても大切であること、そして観光客の救急対応をすることもある中で、白川村に良い印象をもっていただくために、日頃から様々な訓練をしたり、丁寧な処置を心がけているとおっしゃっていました。直接観光業には関係ないと思っていた消防士の方たちの思いや行動が、観光を支えている部分もあることに感銘を受けました。話は変わりますが、年明け、実家への帰省を終え村に帰ると、地域の方やこどもたち、そして観光客の常連さんまでもが、旧寺口家の雪またじのお手伝いをしてくださいました。この村は、職業や世代、地域を超えて「結の精神」で成り立っていることを改めて感じました。世界遺産に暮らす一住民として、恥ずかしくない生き方をすると共に、今まで以上に地域への貢献をしていけたらいいなと思いました。［福田］